

## 肺部分切除後の胸腔ドレーン留置の必要性に関する研究

### 1．研究の対象

2011年1月1日～2020年12月31日までの間に、当院呼吸器外科で肺部分切除を受けた方が対象となります。なお、開胸手術（創部が8cm以上）の方、続発性気胸の方、外傷性気胸の方、両側同時手術を受けた方は対象となりません。

### 2．研究期間

倫理委員会承認後～2026年12月31日

### 3．研究目的・方法

肺部分切除後に胸腔ドレーンを留置する方と留置しない方がいます。肺部分切除後に胸腔ドレーン留置は必須かどうか、また胸腔ドレーンを留置することで合併症が予防できるかを調べる研究です。当研究は、これまで当科で治療を受けてこられた電子カルテの記録のみを用いて行われるため、新たにご協力いただく項目はございません。

### 4．研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテより、患者さんの情報（年齢、性別等）、背景肺疾患、術後合併症などを抜粋し使用します。

尚、これらの情報を用いて解析した結果を学会発表や論文発表として公開することがありますが、発表の際は個人を特定する形での発表は行いません。統計化されているため個人情報は識別不能となっております。

### 5．研究費および利益相反

当研究は呼吸器外科学講座の講座研究費を用いて行われます。

本研究に関わる研究者は、利害関係が想定される企業等との経済的な利益関係（利益相反）はありません。

### 6．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご自身の創部の状況が開胸手術に該当するか等のお問い合わせも可能です。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：吉村 竜一

岩手医科大学医学部呼吸器外科学講座

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通 2-1-1

TEL：019-613-7111（内線 6231）

FAX：019-907-6714

E-mail：[ryuichiy@iwate-med.ac.jp](mailto:ryuichiy@iwate-med.ac.jp)

-----以上